

SHIBECHA FOREST VISION

みんなの森

次の世代に誇れる森を
みんなで作る!

目次

はじめに

標茶町について

標茶町森林ビジョン検討プロセス

討議会の実施について

第1回 討議会

「林産業を未来につなぐ」

第2回 討議会

「林業の魅力向上と次世代の担い手確保」

第3回 討議会

「脱炭素・生物多様性・防災の観点から
未来の標茶町森林のあるべき姿を考える」

重要取り組みテーマ

森林ビジョン実現に向けた

取り組みアプローチ

森林クレジットを活用した

環境価値の創出

おわりに



はじめに

標茶町は、将来における標茶町森林や林業・林産業のあるべき姿・目指すべき姿を地域の方々と共に考え、共有することを目的に、2050年における標茶町森林ビジョンを、地域の木材加工事業者・森林組合・種苗業者・森林管理事業者・教育機関・高校生と共に考え策定致しました。

町面積の54%を占める森林は、私たちや、そこに生息する多様な生物にとって、かけがえのない存在です。

自然と共に生きてきた先人たちの想いを引き継ぎ、今を生きる私たちが、次の世代に誇れる森を、みんなで考え、みんなでつくっていきます。



Town Shibecha Data



人口
(2026年1月)

6,687人

世帯数
(2026年1月)

3,553戸

総面積

109,937_{ha}
(1,099.37km²)

森林面積

58,907_{ha}

森林面積の占める割合

54%

Town Shibecha Map



北海道標茶高等学校

Hokkaido Shibecha High School

- 日本一の敷地面積 (255ha)を誇る高校
- 湿原再生プロジェクト等の取り組みを進めている

西別川



京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林

釧路湿原



塘路湖



標茶町森林ビジョン検討プロセス

標茶町森林ビジョン検討委員会を立ち上げ、全3回の討議会を通じて、2050年における標茶町森林や林業・林産業のあるべき姿・目指すべき姿について議論しました。

2025.7
標茶町森林ビジョン検討委員会 立ち上げ

2025.8.21
第1回 森林ビジョン討議会

2025.10.6
第2回 森林ビジョン討議会

2025.11.14
第3回 森林ビジョン討議会

2026.3
標茶町森林ビジョン 完成



討議会の実施について

森林ビジョン検討委員会は、地域の木材加工事業者・森林組合・種苗業者・森林管理事業者・教育機関・高校生によって構成されており、多様な視点から議論を行い、森林ビジョンの策定を進めていきました。

森林ビジョン検討委員会メンバー

森林組合

標茶町森林組合様

木材加工事業者

有限会社北海林産様
株式会社不二木材様

種苗業者

有限会社谷口種苗農園様

森林管理事業者

明盛建設株式会社様

教育機関

京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林様

高校生

北海道標茶高等学校様

オブザーバー

釧路総合振興局 産業振興部様
釧路総合振興局 森林室様
株式会社北洋銀行様
道南森づくりの会様(第2回)
野生生物総合研究所様(第3回)

事務局

標茶町役場
北海道共創パートナーズ

テーマ

林産業を未来につなぐ



< 参加メンバー >

- ・ 標茶町森林組合様
- ・ 有限会社北海林産様
- ・ 株式会社不二木材様
- ・ 釧路総合振興局 産業振興部様
- ・ 釧路総合振興局 森林室様
- ・ 株式会社北洋銀行様



直面している課題

- ・ 標茶町木材の地域内循環が十分に実現できていない。
- ・ 町全体で新たな林産業を開発し、付加価値を創造する取り組みが十分に実現できていない。
- ・ 木材加工事業者の高齢化と担い手不足。



目指すべき姿・進むべき方向性

- ・ 木材の地産地消を推進し、新たな林産業の開発に取り組む事で、標茶町の林産業を次世代につなげる。
- ・ そのために、森林組合・地域の木材加工事業者・標茶町役場の3者が集まり議論する場を継続的に設ける。

テーマ

林業の魅力向上と 次世代の担い手確保



＜ 参加メンバー ＞

- ・ 標茶町森林組合様
- ・ 有限会社谷口種苗農園様
- ・ 明盛建設株式会社様
- ・ 道南森づくりの会様
- ・ 釧路総合振興局 産業振興部様
- ・ 釧路総合振興局 森林室様
- ・ 株式会社北洋銀行様



直面している課題

- ・ 林業における深刻な担い手不足。
- ・ 次世代を担う林業の担い手が育たず、将来的に森林管理が行き届かなくなる懸念がある。



目指すべき姿・進むべき方向性

- ・ 世代交代が進み、若い林業従事者が多く活躍している。
- ・ 林業が魅力ある事業として認識され、次世代を担う人材が多く育っている。

テーマ

脱炭素・生物多様性・防災の観点から 未来の標茶町森林のあるべき姿を考える



< 参加メンバー >

- ・ 標茶町森林組合様
- ・ 北海道標茶高等学校様(生徒様6名、教員様1名)
- ・ 京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林様
- ・ 野生生物総合研究所様
- ・ 釧路総合振興局 産業振興部様
- ・ 釧路総合振興局 森林室様
- ・ 株式会社北洋銀行様



目指すべき姿・進むべき方向性

- ・ 樹木の若返りや成長促進を図る事でCO2吸収量が最大化されている森林。
- ・ 樹木の根が深く広く発達し、土壌を保持する能力や浸透・保水能力の高い、優れた防災機能を発揮する森林。
- ・ 多様な生態系が維持されて多様な種類・遺伝子の在来種が生息している森林。



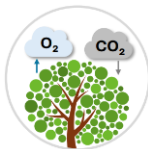
森林の8大機能

森林は生物多様性や地球環境保全、土砂災害の防止等の観点で、極めて重要な役割を果たしています。



生物多様性保全

- ≫ 生態系の保全
- ≫ 生物種の保全
- ≫ 遺伝子の保全



地球環境保全

- ≫ 地球温暖化の緩和
- ≫ 二酸化炭素吸収
- ≫ 化石燃料の代替



土砂災害防止機能 土壌保全機能

- ≫ 土砂災害防止
- ≫ 土壌保全
- ≫ 雪崩防止
- ≫ 防風・防雪



水源涵養機能

- ≫ 洪水緩和
- ≫ 水資源貯留
- ≫ 水量調節
- ≫ 水質浄化



快適環境形成機能

- ≫ 気候緩和
- ≫ 大気浄化
- ≫ 騒音防止



保健・レクリエーション機能

- ≫ 療養
- ≫ リハビリテーション
- ≫ スポーツ
- ≫ レクリエーション



文化機能

- ≫ 学習・教育
- ≫ 芸術
- ≫ 自然とのふれあいの場



物質生産機能

- ≫ 木材供給



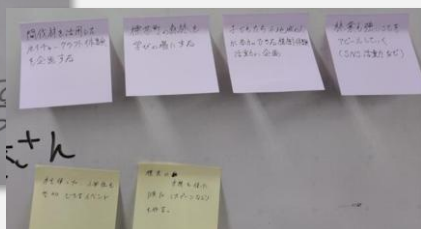
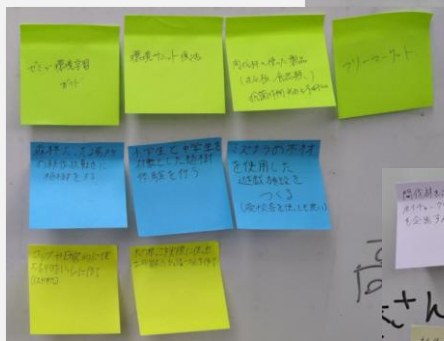
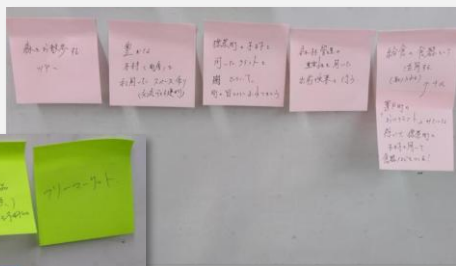
標茶高校生徒様によるワークショップ

標茶高校生徒様が、森林管理の重要性や、林業・林産業の魅力を地域の人たちに知ってもらう方法を考えるワークショップに取り組みました。

取り組みの様子



ワークショップ





標茶高校生徒様の意見・アイデア



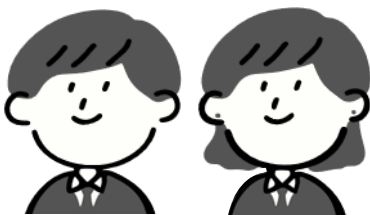
林産業を未来につなぐ

過去森林だった開発地跡で、現在は活用されていない未立木地に植樹をして森林に戻す活動を行う。

廃校舎を活用し、ミズナラ材を使用した遊戯施設（アスレチック等）をつくる。

標茶町産材を使って、コップ・スプーン・机・椅子など、日常的に使えるものをつくる。

標茶町産材を活用し、地域住民が交流できる空間をつくる。





標茶高校生徒様の意見・アイデア

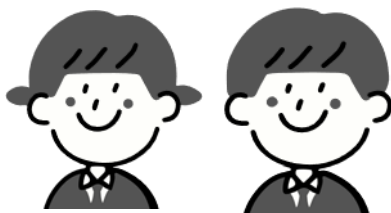


脱炭素・生物多様性・防災

全国の高校生が集まる環境サミットを
標茶町で開催したい。

標茶高校の森林を活用して、地域の人が交流・参加
できる環境学習ガイドを、ゼミで企画・実施する。

森林により土砂崩れをどれだけ防げているかの
シミュレーションを行い、結果を公表する。





標茶高校生徒様の意見・アイデア



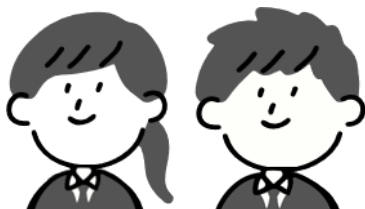
林業の魅力向上と次世代の担い手確保

木を使ったネイチャークラフト。標茶高校でも実施しているが、木に触れあえてよかったという感想をもらった。

置戸町の「オケクラフト」のように、標茶の木材を用いて食器を作り、小中学校の給食の食器として利用する。

幼少期から木に触れあえるよう、標茶町産材を使った遊具やおもちゃを作る。

小中学生など、若い世代向けの植樹体験や木イベントを開催する。





標茶高校生徒様の意見・アイデア



林業の魅力向上と次世代の担い手確保

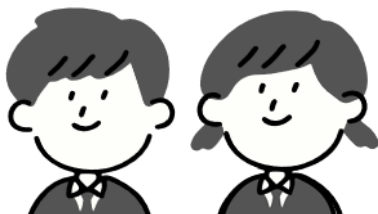
森を散歩するツアーを企画する。

森の中に入って木と触れ合ってみることが、人々のリラックスに繋がる。

地域のこども園や小学校に対し、森林管理の重要性を伝える出前授業を行う。

子どもの頃の体験は、大人になっても忘れない。

林業や林産業の魅力発信を
SNSのリール動画を使って行う。





参加者から生徒へのフィードバック



京都大学フィールド科学教育研究 センター北海道研究林 様

自分達も大学の研究林でイベントを企画しているが、イベントの認知度を高める方法を模索している段階です。SNSによる情報発信に関する意見も出ていたので、どうすれば多くの地域の方々にイベントを知ってもらえるか、是非高校生の視点でアドバイスが欲しいです。

食器の製造など、高校生だけでは実現が難しいアイデアもあったので、地域の木材加工業者と相談して、どうすれば実現できるのか考えていく事が重要だと感じました。



野生生物総合研究所 様

標茶町は、全国的に見ても、すごいバックグラウンドとポテンシャルを持った地域だと感じました。例えば、釧路湿原国立公園の敷地面積において、約45%は標茶町が占めていますし、全国で最大の敷地面積を誇る標茶高校がある事も大きな特徴だと思います。

今回のような取り組みを継続していく事が非常に重要で、地域の人たちにも参加してもらい、是非持続していただきたいなと思いました。



検討委員会参加のご感想



標茶高校生徒 様

地域住民や町役場と意見を交わしながら、将来の森林のあり方について学ぶ貴重な機会となり、標茶町の間伐材をこれから地域にどう還元していくか・住民と触れ合う機会を作るか高校生の視点で考えた意見を伝えるなど、私たちができることについて考え直すことができました。



標茶高校生徒 様

標茶高校には林業を学ぶ科目がなく、標茶の森林のことを真剣に考える機会は私たちにとって貴重で非常に有意義な機会になりました。役場や振興局の方、林業を営んでいる方、森林組合の方など多くの大人の方と未来の森林について議論することができました。



京都大学フィールド科学教育研究
センター北海道研究林 様

地域の現状や高校生たちの現状認識、意欲などが知れて大変有意義な場でした。時間の関係で、今回は難しかったですが、有識者の方々にコメントをいただいたり、高校生と意見交換する時間をより多く設ける事ができると、更に良い会になると思いました。

みんなの森

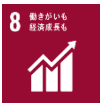
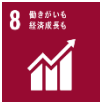
～次の世代に誇れる森を、みんなでつくる～

標茶町森林ビジョン検討委員会では、地域の様々なステークホルダーに参加いただき、将来における標茶町森林や林業・林産業のあるべき姿・目指すべき姿を、みんなで考え、つくりあげてきました。

「みんなの森」には、これから先の森づくりも、多くの方々に参加いただき、次の世代に誇れる森を、みんなで作っていききたいという願いが込められています。

重要取り組みテーマ

「経済」「社会」「環境」の観点から、森林ビジョンを実現するための重要取り組みテーマを6つ決めました。

重要取り組みテーマ		関連するSDGs
経済	① 木材の地産地消	   
	② 森づくりの担い手育成	   
社会	③ 森林の防災機能強化	
	④ 生物多様性保全	   
環境	⑤ 森林のCO2吸収量最大化	
	⑥ 水質の保全	

森林ビジョン実現に向けた取り組みアプローチ

標茶町は森林ビジョン実現に向け、下記の取り組みを実践していきます。



① 木材の地産地消

- ・ 標茶町森林組合、木材加工事業者、標茶町役場による、定例的な会議体の継続
- ・ 域内木材加工事業者が町産材を購入する際の費用補助制度新設の検討
- ・ 町内における森林生育状況の把握・データ化
- ・ 未立木地への植樹の取り組み
- ・ 木材安定供給のための林道・作業道等の整備



標茶町森林ビジョン検討委員会



林道維持補修事業



② 森づくりの担い手育成

林業・林産業及び山林の魅力発信

- ・ 林業林産業について理解を深めてもらうための、出前授業の実施
- ・ 植樹体験活動の企画
- ・ 学校林を活用した、除伐・枝打ち体験
- ・ 標茶高校森林散策ツアーの企画
- ・ 森林に関する地域コミュニティをつくる
- ・ 業界の垣根を超えた「オールしべちゃ」の連携体制の構築
- ・ 観光事業との連携による、プロモーション戦略の展開
- ・ SNS動画による情報発信



シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭



新生児誕生世帯木製フォトフレーム
プレゼント事業



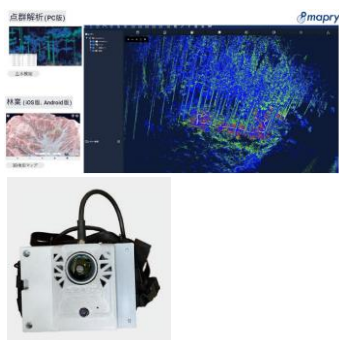
標茶高校と標茶町観光協会が町有林ミズナラ材を活用し作成した、木製ピンバッチ

地域おこし協力隊との連携強化

- ・ 農業・観光分野で活動している地域おこし協力隊に林業・林産業分野にも興味を持ってもらい、兼業的に取り組んでもらう
- ・ 地域おこし協力隊と連携した、標茶町森林の魅力発信活動の実施
- ・ 地域おこし協力隊が任期満了後も地域に根付くための仕組みの構築

林政・林業DXの推進

- ・ ドローン等レーザー測量技術を活用した業務効率化模索
- ・ 林政・林業効率化や知見の蓄積・継承を目的とした、システムの導入
- ・ 高性能林業機械の導入



レーザー測量技術を活用した
林業DXの取り組み



林業担い手確保育成支援事業



③ 森林の防災機能強化

- ・ 標茶町森林整備計画に基づく、森林施業の徹底
- ・ 森林の果たす水源涵養や防災機能に関する教育活動の推進



④ 生物多様性保全

- ・ 生物多様性ゾーニングに基づく森林施業の実施
- ・ 地域の人たちに森林の果たす役割について知ってもらう環境教育イベントの実施



⑤ 森林のCO₂吸収量最大化

- ・ 森林の若返りを進める計画的な森林施業展開



⑥ 水質の保全

- ・ 野生生物の生息域や、水質保全を目的とした、河川周辺の植林実施



これらの、森林ビジョン実現に向けた取り組みを、町有林由来の森林クレジット販売収益森林環境譲与税等を財源として、実践していきます。

森林クレジットを活用した環境価値の創出

標茶町は、持続可能な森林管理とカーボンニュートラルの実現を目的に、町有林における森林クレジット創出の取り組みを協力機関と共に進めております。



森林クレジットとは

森林クレジットは、森林が成長の過程で吸収するCO₂量のうち、人の手が加わった(間伐や下刈等、森林の成長を促すための適切な手入れがされた)事で増加した上澄み分を、価値に変換したものです。

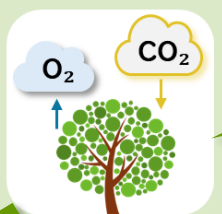


森林クレジットの活用方法

森林クレジットは、カーボンニュートラル実現を目標として省エネ・再エネ等に取り組む企業が、削減しきれなかったCO₂排出量を相殺する目的で購入します。

標茶町は、森林クレジットを通じて道内外の企業とのつながりを深めるとともに、森林クレジット販売により生まれた収益を、持続可能な森林管理を実現し、森林ビジョンを実現するための取り組みの財源として活用致します。

森林クレジットを活用し
標茶町有林施業の結果
増加したCO₂吸収量を価値化



森林のCO₂吸収量最大化

森林ビジョン実現のための
取り組み財源として活用



おわりに

今回策定した、標茶町森林ビジョンは、標茶町の25年後、50年後といった長期的な森林の将来像を見据え、自然と共存する標茶町らしい森づくりの在り方などの方向性を示す独自の計画で、標茶町森林整備計画を補完する位置づけにあります。

誰が見てもわかりやすい森林ビジョンを策定する事を目指し、地域の木材加工事業者・森林組合・種苗業者・森林管理事業者・教育機関・高校生等多くのステークホルダーに参加いただき、多様な観点で意見を出し議論を行い、このたび、「みんなの森」という標茶町らしいビジョンをつくる事ができました。

ご協力いただいた、森林ビジョン検討委員会メンバーをはじめとした多くの方々に、深く感謝申し上げます。

また、森林ビジョンをきっかけに、一人でも多くの方が標茶町森林や林業・林産業について興味・関心をもっていただけますと幸いです。



標茶町森林をさらに知りたくなった方へ

標茶町森林ビジョン詳細版を作成しています。下記URLよりアクセスをお願いします。



標茶町森林ビジョン詳細版はこちらから

URL:

http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/gyousei/sesaku_kaku_kouhyoushiryou/nouringyou/forest_vision.html